

科目名	美術			担当教員	永井 崇幸		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	09G02_20140	単位区別	履修単位
学習目標	構想画、デザイン画、あらゆる表現方法による絵画表現を通して、個々の創造力を伸ばし、豊かな感性と心情を養う。イメージを膨らませて、自主的に創造する価値と喜びを感じさせる。						
進め方	絵画表現を通して、独自のイメージを膨らませ、自己の表現を追求させる。						
履修要件	特になし						
	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
学習内容	1 構想画 -理想都市を描く 着彩	8		・テーマに沿ったイメージは、どのようにして引き出すことができるかを考える。 E6:1			
	2 デザインと描写 -定められた空間の構成 着彩	10		・CGの発達により、意識のないままに仮想現実（バーチャルリアリティ）があふれていることを認識する。それらのイメージを再構成して、独自のイメージとして表現することができる。 B2:1			
	3 自由制作 着彩	12		・幾つかの制作条件のもとで、理想の都市空間を豊かなイメージを膨らませて表現することができる。 E6:1			
				・直線・曲線を使い分けて建造物と都市空間を表現することができる。 B2:1			
				・自分でデザインする外形を決定する。 E6:1			
				・指定された条件下で定型の形を生かして表現することができる。 E6:1			
				・デザイン的な色面構成の中に精密な描写をすることができる。 E6:1			
				・制作に必要な資料を準備し、テーマに沿った表現ができる。 E6:1			
				・あらゆる絵画表現手段を用いて作品制作する。 B2:1			
				・自分の定めたテーマを感性豊かに表現することができる。 B2:1			
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価（90%）（作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%）、制作態度（10%）を考慮して総合的に評価する。						
関連科目	特になし。						
教材							
備考	自主的に美術館・ギャラリーなど鑑賞した際のレポートは、随時受け付けます。 学習・教育目標との関係：(A)「社会と文化に理解を深め、他人の物の見方や考え方を知る。」 (B) 自らのイメージを豊かに膨らますことで、型に入らない新鮮な発想とそれを表現する手段を養うことは、未来を担う技術者の育成に重要である。						